

Silver

こがねい

2024

No.154



4年ぶりの花見

中町 伊東 浩氏

新年度に寄せて

新職班長名簿

地区委員・広報担当委員名簿

さんぽみち

新年地域班集会

会員のひろば

やってみよう

お知らせ・新入会員

4月1日現在の会員数

男… 604名

女… 398名

計…1,002名

— いつまでも 笑顔と健康 地域の輪 —



公益社団法人 小金井市シルバー人材センター

〒184-0002 小金井市梶野町4-2-7 グランツ梶野2階

TEL 0422-27-7117 FAX 0422-27-7476

E-mail silver@koganei-sc.or.jp

URL <https://webc.sjc.ne.jp/koganei/>

新年度に寄せて

事務局長 天野 建司



日頃より、会員及び役員の皆様におかれましては、当センターの運営にご理解とご協力を賜りまして、心よりお礼申し上げます。

令和5年度は、コロナ感染症が5類となり、「なかよし市民まつり」への参加、「シルバークリーン大作戦」、「いきいきフェア2023」、「シルバーのための健康講座」などのイベントを開催することができ、活気が戻りつつあります。一方、物価高騰、進行する少子高齢化、気候変動や大きな自然災害、またデジタル技術の浸透やインボイス制度、フリーランス新法施行への対応など、大きな社会変化に直面しています。

シルバー事業におけるデジタル化の推進は、業務の効率化と経営の安定を図るうえで、避けては通れない課題です。全国シルバー人材センター事業協会では、「シルバー事業のデジタル化は待ったなし」としています。当センターでは、会員との連携を強化し、情報を素早く会員の皆様が受け取れる、インターネットを利用した情報提供サー

ビス「Smile to Smile」の運用を開始いたしました。なお、スマホ、パソコンでの初期設定等では、お手間をお掛けしておりますが、更なるご理解とご協力をお願いいたします。

令和6年度は変化の時代です。第6次中期計画の3年目であり、安定的な運営と変革をしていかなければなりません。会員増強では、女性会員の拡大や退会抑制、またネットからの入会手続きなどデジタル化の推進です。就業拡大では、公共部門・民間部門を問わず就業開拓を進めていきます。地域貢献活動では、その重要性を感じ、ボランティア活動等への参加、地域活動や内容の更なる拡充・充実です。安全就業では、あらゆる機会を通じて「事故ゼロ」への向上に取り組みます。

シルバー事業を取り巻く環境は、大きく変わつつありますが、「自主・自立」、「共働・共助」のもと、地域に根差し「いつまでも 笑顔と健康 地域の輪」を合言葉に、信頼されるシルバー人材センターとして努めてまいります。

令和6(2024)年度 職班長名簿

(4月1日現在)

職班名	班長	職班名	班長	
学習教室班	大渡 正士	障害者福祉センター管理班	梶 朗	
英会話教室班	田中 壽祐	駐輪場管理班	武蔵小金井地区 大房 保男	
パソコン班	伊東 浩		東小金井地区 橋本 育男	
植木剪定班	山崎 博嗣	自転車保管所管理班	松村 俊明	
ふすま班	小田 鈞	上水公園運動施設管理班	深澤 不折	
リビングサポート班	臼井 好夫	滄浪泉園管理班	新谷三喜男	
手工芸班	八森 晴子	市テニスコート場管理班	二宮 定雄	
福祉・家事援助班	藤原 馨子	市庁舎クリーンサービス班	浜田 徹	
子育て支援班	今村 サチ	公民館清掃班	児玉 芳永	
南小学校通学路見守り班	森 美樹	貫井北センター清掃班	斉藤 隆三	
	(本館)	柳田 洋	除草班	大石 晴二
	(東分館)	藤本 弥生	清掃班	渡瀬 浩一
	(貫井南分館)	長田 精治	シャトークリーン班	斉藤美津子
	(緑分館)	常盤 忠敬	放置自転車 見回り班	(武蔵小金井地区) 未定
(貫井北分館)	川村修一郎	(東小金井地区) 未定		
商工会館管理班	根本 彰	法政大学管理班	鈴木 重幸	
上之原会館管理班	中重 英人	イトーヨーカ堂	カート等整理班 品田 則夫	
婦人会館管理班	綿引 慶三	自転車整理班	古川 勝也	
桜町上水会館管理班	金山 壽一	通学指導班	黒部 充利	
前原町西之台会館管理班	網野 隆	施設管理班	河合 高士	
東小金井駅開設記念会館管理班	滝 徹			

令和6（2024）年度 地区委員・広報担当委員名簿

（4月1日現在）

地域	丁目	氏名	地域	丁目	氏名	地域	丁目	氏名	
東町	担当理事	林 三蔵	緑町	3丁目	平野 武	本町	担当理事	本多 隆志	
	1丁目	○ 城戸龍太郎		3・4丁目	島田 榮子		1丁目	渡辺伊佐夫	
		吉田 綾子		4丁目	□ 川手 成子			高橋 輝美	
	2丁目	大沼 信一		5丁目			石坂フジ子	2丁目	垂水 裕子
		松本 幸彦					齊藤美佐子	3丁目	鶴本 国昭
	3丁目	古屋 名穂			兼 千葉 恵		4丁目	大竹勝代志	
	4丁目	□ 木村 勝美		兼 五十嵐光二	江頭 泰夫				
				堀部 啓寿	広 報		柿内 照喜	5丁目	佐野 則子
	菊地 静子	地域班長	○ 篠木 稔	齋藤 義之					
5丁目	渡邊くに子	担当理事	豊田 二郎	6丁目	高倉基久子				
広 報	品田 則夫	1丁目	坂本 幸子	広 報	鴨下 正直				
	小澤 慶子	2丁目	久保田勝巳	地域班長	広報兼 上原 繁樹				
梶野町	担当理事	鈴木 重幸	中町	3丁目	○ 米山 進	貫井北町	担当理事	長澤 和子	
	1丁目	中川 敏統			兼 久保田勝巳		1丁目	鈴木久美子	
	2丁目	菊地 宏		伊豫木禮子	2丁目		古川 勝也		
	3丁目	藤田 英夫			竹下 久恵		3丁目	新井 稔	
	4丁目	小林 光秋			小堀ミツ子			伊藤 博徳	
	5丁目	澤田 悦子		伊東 敬子	5丁目		野口 照代		
	広 報	中村 英一		4丁目	□ 金山 壽一		広 報	河合 高士	
		○ 宮崎 裕二		広 報	未定		地域班長	○ 小野 眞	
関野・桜町	担当理事	大野 芳輝	前原町	担当理事	尾上 裕	貫井南町	担当理事	横谷 和利	
	関1・2丁目	中山 忠		1丁目	飯田 勝巳		1丁目	奥山佳與子	
	桜1丁目	東 弥司良		2丁目	富山 和美		2丁目	大淵 達雄	
		柏倉 明			長谷川輝子		3丁目	松本 保雄	
	桜2丁目	田嶋 清二		3丁目	阿部 睦恵		4丁目	○ 綿引 慶三	
	桜3丁目	兼 中山 忠			山口 礼子			関口小夜子	
	広 報	木原 昭郎		4丁目	丹野 亘		5丁目	高橋 待	
地域班長	○ 三原 光一	□ 新堀 悦子	○ 河田 茂	札内 明子					
緑町	担当理事	柴田 孝子	5丁目	中本 訓生	広 報	富子 久夫			
	1丁目	千葉 恵		中村 隆文					
	2丁目	五十嵐光二		小谷野葉子					
	2・4丁目	古屋 敏郎							

○：地域班長 □：地域副班長 広報：広報担当委員 兼：兼任

さんぽみち 33

御成の松跡(おなりのまつあと)

(桜町3丁目)

玉川上水堤の桜並木は、江戸近郊随一の花見の名所で、多くの著名人が来ています。武士は騎馬で遠乗りを行いました。天保15年(1844)4月12日、将軍のお世継ぎ右近衛大将家祥(うこんえのたいしょういえさち)、後の13代将軍家定が花見に訪れました。当日は大雨でしたが家定は馬から下りて堤を歩き、御座所を設けて花見の宴を催しました。後に村人が御成りを記念して御座所跡に1本の黒松を植え「御成の松」と呼ばれ親しまれてきましたが、平成6年に松喰虫の被害で枯れ、惜しくも伐採されました。小金井橋から公園側の遊歩道を歩くとすぐに「御成の松跡」の案内板(小金井市教育委員会 平成22年3月)があります。案内板には御成の松の絵葉書(大正時代)の写真があり、当時の御成の松周辺の風景を偲ぶことができます。今ある小振りの松は、その後に植えられた松です。



右大将 花見の跡に 御成松(こがねい郷土かるた)

地域班集会の様子



コロナ禍で中止されていた地域班集会は4年ぶりに復活しました。



~~緑町 1月9日 緑センター~~
梶野町 1月17日 婦人会館



~~梶野町 1月17日 婦人会館~~
緑町 1月9日 緑センター



関野・桜町 1月18日 桜町上水会館



前原町 1月22日 萌え木ホール

センターの動き

● 1月 ●

- 11日 多摩市SC視察来訪
- 12日 市長新年挨拶訪問
5B・常務理事事務局長会（東久留米市SC）
- 15日 新しく就業する会員の研修会（萌え木ホール）
- 23日 定例理事会 次の議案等を承認した。
①入会者の件
②会員入退会取扱要領の一部を改正する件
- 30日 狛江市SC視察訪問

※ 1月の入会者6名 退会者12名

● 2月 ●

- 5日 職班長連絡会議（萌え木ホール）
- 6日 市役所監査（事務局）
- 14日 武蔵野市SC視察来訪
- 16日 福祉・家事援助班サービス事業担当者交流会
（立川・三多摩）
- 17日 出張入会説明会（前原町西ノ台会館）
- 21日 5B・安全就業推進連絡会（西東京市SC）
- 27日 定例理事会 次の議案等を承認した。
①入会者の件 ②職員給与規程の件
③理事の就業における報告の件

※ 2月の入会者13名 退会者18名



各地区活発に活動されました。



東町 1月29日 東センター



貫井南町 1月31日 貫井南センター



本町 2月1日 萌え木ホール



貫井北町 2月20日 中之久保集会所

● 3月 ●

- 11日 連・会長会議
- 18日 地域班理事・地域班長連絡会議
- 23・24日 貫井北センターまつり（手工芸班）
- 25日 連・事務局長会議
- 26日 定例理事会 次の議案等を承認した。
 - ①入会者の件
 - ②令和6年度事業計画及び収支予算
 - ③準職員就業規則（期末手当に関する基準）の件
 - ④業務委託規程の一部を改正する規程の件

※ 3月の入会者10名 退会者51名



中町 2月22日 中町天神前集会所

会員のひろば

～昭和の名車輻～

パーラーカー クロ151

桜町 田嶋 清二



旧国鉄は昭和29年後半から車輻の近代化を進め、昭和32年に今までにない新しい発想で開発された通勤型電車（赤い電車モハ90型）を中央線に投入しました。さらに、その技術により長距離急行電車・特急電車が開発され、昭和33年11月には東京・大阪間を6時間50分で結ぶビジネス特急「こだま」が東海道線に登場し、その後6時間30分に短縮され日帰りで大阪に行くことが可能になりました。因みに、今は新大阪か博多で乗り換えて、約6時間40分で鹿児島に行くことが可能になり隔世の感がします。

当時の国鉄の車輻の塗装は茶色か黒なので、赤とクリームの2色に塗り分けられた「こだま」の車輻は当時としては珍しく衆目を集めました。

その後、「こだま」は増結され12輛編成になり、その時登場したのが「パーラーカー クロ151」で、定員4名の個室と14名の開放室、計18名の豪華な車輻で政財界人、外国人、その他多くの著名人が利用し、現在でも遜色のない豪華な車輻でした。この車輻は、順次他の特急電車にも増結されました。昭和39年10月に東海道新幹線が開通すると山陽線に転出され活躍しましたが、利用率が低く普通のグリーン車に改造されてしまい現存していません。終戦から13年余りでこのような車輻を造り上げた国鉄マンの心意気には驚かされます。この時代は鉄道の需要が高く、乗車時間も長時間なので、このような車輻が造られたと思います。

今、JR各社は、一部を除き自社の営業地域内でのみ列車を走らせ、他社の地域にまたがる長距離列車の運転は新幹線を除いてありません。



パーラーカー クロ151



やって みよう 10

☆ 昭和～西暦 「25を足す」

昭和23年は、 $23+25=48$ で **西暦1948年**

☆ 平成～西暦 ゾロ目「88を足す」下二桁

平成28年+88=116で **西暦2016年**

☆ 令和～西暦 「18を足す」

覚えにくいので、令和を**018(れいわ)**に読み替える

令和5年+18=23で **西暦2023年**

チョット、脳トレ



Smile to Smile 登録支援会実施しています

4月度からの配分金明細書の郵送廃止に伴い、配分金明細書はSmile to Smileというシルバーセンター連合会が運営するwebsiteに各会員がログインして確認を行うことが決まりました。そこでセンターでは、会員全員にログインIDと仮パスワードを記載した通知書を郵送し、会員が自分自身でスマートフォンやパソコンで利用登録をすることとなりました。登録作業に不安がある会員のために、登録支援室を設けています。ご利用の際には事前に事務局に連絡して、支援日を予約してください。

一人10分ほどで設定できます。お気軽にご利用ください。



狛江市シルバーセンター視察報告

日時：2024年1月30日（火曜日） 14時30分～17時

場所：狛江市SC会議室

出席者：狛江市SC（浅沼会長他2名）、小金井市SC（豊田総務部会長他6名）

視察の目的は、一番目に会員数が大幅に増加している、二番目に女性会員が活躍している主な就業内容、三番目にその他、小金井市SCで参考にできる部分の活用等を検討した結果、ホームページで狛江市SCが候補地として上がり視察しました。

1. 会員数について

令和5年度（2023）12月末の会員数は837名で9年連続して増加しています。

会員募集内容は、メディアを利用した方法「NHK・FMラジオ」やホームページ等いろいろなチラシによる入会の案内で大きく増加しています。

その中で、特に女性会員は9年前に比べ2倍以上（153名⇒333名）と順調に伸ばしています。

2. 会員が活躍している主な就業場所について

狛江市SC独自のシルバーお仕事MAP（就業場所を明示した地図）で、新規入会者が就業できる場所が見えることで、特に保育事業方面で新規会員が増加しました。また、小金井市SCでは主に男性会員の職場である「植木剪定班」は、狛江市SCでは女性会員も担当しています。

3. その他

①楽しめるイベントやクラブ活動で地区対抗運動会等を目的として入会できるシステム（プラチナ会員制度）を令和4年度から採用しています。

②シルバーポイント制度の導入、シルバー主催の定時総会出席や社会奉仕活動（ボランティア清掃等）に参加した時、また狛江市が主催した清掃活動等に参加した時にポイント数が付与されその累積ポイント数の合計貢献度により年一回表彰される仕組みです。ほかにもいろいろ内容の濃い説明がありました。カラーチラシの作成による会員増強とイベントの案内による退会会員の抑制を図っているのが印象に残りました。



お知らせ

新事務局職員紹介



ながおか りえ
永岡 理恵



くまがい しょうこ
熊谷 祥子

宜しくお願い致します

第14回定時総会案内

開催日時：令和6年6月20日（木）13：00～

場 所：宮地楽器ホール（武蔵小金井駅南口）

退職職員

令和6年2月29日退職

伊東 隆行

令和6年3月31日退職

笛木 将也 佐藤 壮之

お世話になりました

新入会員です

緑 町

犬塚 則男
外山真理子

東 町

志風 美世
島田 恵子

貫井北町

湯浅 雅之
関根 鈴子

本 町

横田 佳世
豊田 信義
大槻 年己
並木 年春
茂木 義史
十文字生介
十文字敏子

梶野町

石田 守弘

前原町

大坪ちか子
白石 一夫
廣瀬 充夫
中村 秀至
大島 智之
東田 勇
高橋紀代美
原 紀子

貫井南町

植村 礼子
原 恵子
大森 弘子
福田 八郎
李 思元
鈴木 君子
西村 クラウジオアキラ

(令和6年1月1日～3月31日までの入会者29名) 順不同



表紙のことば



コロナ禍で制限のあった花見が2023年、4年ぶりに復活しました。

見頃の桜の下で、和やかにお花見・お弁当楽しんでますね。ようやく日常が戻ってきた気がします。ちなみに2023年は3月16日で見頃だったんですね。(中町 伊東 浩)

訃報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます

菅原 延幸 様 81歳 梶野町

編集後記

今回は、記事の集まりもよく、会報編集は本多 隆志 編集長を筆頭に、林 三蔵、梶谷 達夫、大山 美沙子、阿部 妙子、依田 孝志、檜森 正子、渡辺 千明、伊東 浩の9人の編集委員でまとめてまいります。今後も、読みやすい紙面構成や斬新な記事掲載に努めてまいりますので、Silverこがねいに相変わらずのご愛顧をお願い申し上げます。(伊東 記)